

(4) 指導過程

段階	学習活動・教師の働き掛け	予想される子どもの反応	支援◇評価◎留意点○
つかむ 見通す 追求する	<p>1 前時の振り返りをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おはなしめいじんになるには、どんなことに気をつけたらよいでしょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て話す。 ・相手に聞こえる声の大きさと話す。 ・ゆっくり話す。 ・宝物は、ゆっくり見せる。 </div> <p>2 グループに分かれて、発表練習をする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前の時間に考えた今日のめあてに気をつけて、練習をしましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょうどよい声の大きさだったよ。 ・大きい声でちゃんと聞こえたよ。 ・もう少し大きい声で話すといいよ。 ・4の声だったから、もうちょっと小さい声のほうがいいよ。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりで聞きやすかったよ。 ・お話がちゃんとわかったよ。 ・もう少しゆっくり話したほうがいいよ。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・宝物が見やすくてよかったよ。 ・宝物が見えにくかったよ。 ・宝物を指さして話すと、わかりやすいね。 </div> </div> <p>○話を聞いていて、質問をしたい場合はしてもよいこととする。 ○質問に答えられない子どもたちもいると考えられるので、質問に答えられなくても、本番で答えられるようにしようと全体に声をかける。 ○宝物の実物を用意すると、そちらに意識が向いてしまうと考えられるので、実物にかわる物を各班に一つずつ配布する。 ○発表会では、声のものとさし4の声の大きさと話すようにすることを伝える。</p>	<p>○子どもたちの学習への意欲を損なわないために、話し方に関する発言であれば積極的に認め、褒めるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>相手にわかりやすく伝えるための学びを深めるために、グループで発表練習をする。</p> </div> <p>○生活班で練習をする。</p> <p>○声の大きさ、話す速さ、伝えるための工夫を評価しやすいようにチェックシートを配布する。</p> <p>◇みんなの前で話すことに自信がないAさんの近くで聞いて声掛けをし、自信をもって話しができるようにする。</p>	
まとめ	<p>3 学習の振り返りをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おはなしめいじんになることができたか、今日の勉強を振り返ってみましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声でわかりやすかったと言ってもらえたよ。 ・話す速さがとてもよいだったよ。 ・前よりもゆっくり話せたよ。 ・大きい声で上手って褒めてもらったから、発表会もがんばるぞ。 ・宝物を指しながら話すのを忘れちゃったから、発表会がんばろう。 </div> <p>○振り返りシートを早く書き終えた子どもは、友達の発表でよかったところやアドバイスを紙に書いて渡す。</p>		<p>○教師が計時をし、子どもたちの様子を見ながらスムーズに練習が行えるように声をかける。</p> <p>◎相手により伝わるように話すことができたか。(発言、チェック表、振り返りシート)【話す・聞く】</p>

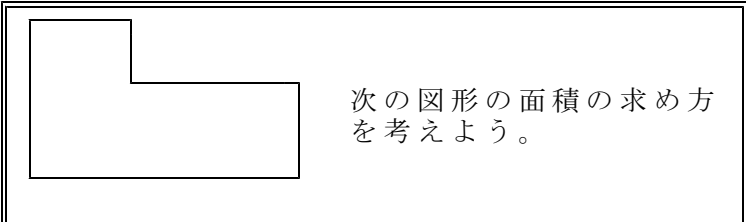
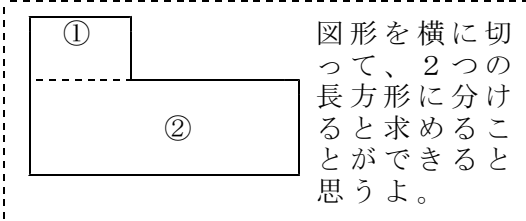
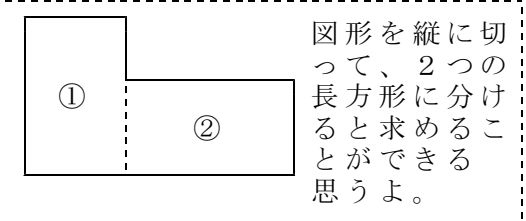
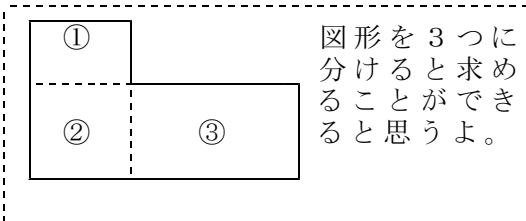
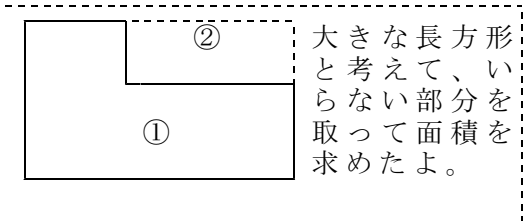
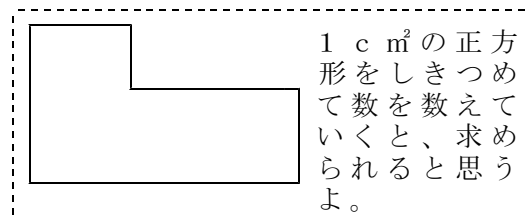
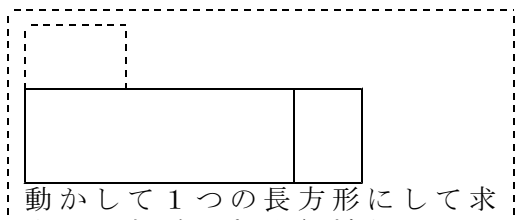
(4) 指導過程

段階	学習活動・教師の働きかけ	予想される子どもの反応	支援◇評価◎留意点○				
つかむ	<p>1 前時に描いた絵を見せながら、「ほしいもの」の名前を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 自分の「ほしいもの」の絵を見せながら名前を発表しましょう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームランバット ・ボルトシューズ ・時間割ランドセル </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろそう。 ・どうやって使うのかなあ。 ・自分のと似ているな。 </div>		<p>○実物投影機を使って絵を拡大して全体に見えるようにする。</p>				
見通す	<p>2 グループ活動の進め方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ほしいもの」の説明を生活班で行うことを伝え、グループの形で活動する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「ほしいもの」の名前、 ② なぜほしいのかの理由、 ③ 使い方、 ④ 説明を聞いてから、質問やアドバイスをする。 ・話しながら、ワークシートに説明を書き加えていく。 ・5分ごとに次の発表者に交代する。 		<p>絵を指したり、相手の表情をみながら話したり聞いたりすることで、アイデアが具体化するように小グループでの活動を取り入れる。</p>				
追求する	<p>3 グループに分かれて活動する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> グループになって、順番に「ほしいもの」の説明をしたり、友達への質問やアドバイスをしたりしましょう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>話し手</p> <p>自分の「こんなものがほしいなあ」が、より具体的に想像できるように、声に出して友達に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの「ほしいもの」は○○○です。 ・なぜこれがほしいのかというと、もっと△△△になりたいからです。 ・これは使うときにこうやって(絵を指さしながら)使います。 ・なにか質問はありませんか。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>聞き手</p> <p>友達の説明を聞き、「もっと知りたい。」「こんなこともできるといいな。」と思ったことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい名前だね。 ・便利そうだね。 ・使い方が分からないから、教えてください。 ・スイッチはどこにあるんですか。 ・何でできているんですか。 ・こんなこともできるといいね。 </td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・強さをボタンで調節します。 ・ここに、スイッチをつけようかな。 ・ガラスなので壊れやすいです。 ・もう少し工夫ができそうだな。 ・友達のも聞きたいな。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすくなったね。 ・それも、いい考えだね。 ・自分の説明も聞いてもらってアドバイスしてほしいな。 </td> </tr> </table> </div>	<p>話し手</p> <p>自分の「こんなものがほしいなあ」が、より具体的に想像できるように、声に出して友達に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの「ほしいもの」は○○○です。 ・なぜこれがほしいのかというと、もっと△△△になりたいからです。 ・これは使うときにこうやって(絵を指さしながら)使います。 ・なにか質問はありませんか。 	<p>聞き手</p> <p>友達の説明を聞き、「もっと知りたい。」「こんなこともできるといいな。」と思ったことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい名前だね。 ・便利そうだね。 ・使い方が分からないから、教えてください。 ・スイッチはどこにあるんですか。 ・何でできているんですか。 ・こんなこともできるといいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強さをボタンで調節します。 ・ここに、スイッチをつけようかな。 ・ガラスなので壊れやすいです。 ・もう少し工夫ができそうだな。 ・友達のも聞きたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすくなったね。 ・それも、いい考えだね。 ・自分の説明も聞いてもらってアドバイスしてほしいな。 		<p>○友達からの質問やアドバイスを受けることにより自分が気づかなかったことや、よりおもしろいアイデアをワークシートに赤鉛筆でそのまま付け加え発表メモにつなぐことができるようにする。</p> <p>◇アドバイスをすぐにメモできないAさん、Bさんには友達に直接シートにかいてもらってもよいと伝える。</p> <p>○アドバイスを参考にするかどうかは、本人に任せるように伝えておく。</p> <p>○アイデアのよいところを伝えるようにする。</p> <p>◎自分の欲しいものを友達に話し、アドバイスを受けることでより具体的なイメージを持つことができる。(発言・ワークシート)</p> <p>【話す・聞く】</p>
<p>話し手</p> <p>自分の「こんなものがほしいなあ」が、より具体的に想像できるように、声に出して友達に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの「ほしいもの」は○○○です。 ・なぜこれがほしいのかというと、もっと△△△になりたいからです。 ・これは使うときにこうやって(絵を指さしながら)使います。 ・なにか質問はありませんか。 	<p>聞き手</p> <p>友達の説明を聞き、「もっと知りたい。」「こんなこともできるといいな。」と思ったことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい名前だね。 ・便利そうだね。 ・使い方が分からないから、教えてください。 ・スイッチはどこにあるんですか。 ・何でできているんですか。 ・こんなこともできるといいね。 						
<ul style="list-style-type: none"> ・強さをボタンで調節します。 ・ここに、スイッチをつけようかな。 ・ガラスなので壊れやすいです。 ・もう少し工夫ができそうだな。 ・友達のも聞きたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすくなったね。 ・それも、いい考えだね。 ・自分の説明も聞いてもらってアドバイスしてほしいな。 						
まとめる	<p>4 学習の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 説明をしたり友達から質問やアドバイスしてもらったりしたことで、自分の「ほしいもの」に付け加えたことを発表しましょう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・Dさんのヒントで、強さを調節するスイッチをつけられてよかったです。 ・声に反応するようにマイクを付けました。 </div>		<p>○実物投影機で写し、書き込みが見えるようにする。</p>				

(4) 指導過程 (授業構想と異なる展開になっています。)

段階	学習活動・教師の働き掛け 予想される子どもの反応	支援◇ 評価◎ 留意点○
つかむ	<p>1 前時までに学習したことの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの辺の長さが等しい三角形は二等辺三角形です。 3つの辺の長さが等しい三角形は正三角形です。 <p>2 本時の課題へとつなぐ活動</p> <p>折り紙を折って二等辺三角形を作ろう。</p>	<p>○確認用の図形を提示しながら復習する。</p>
見通す	<p>子どもたちの前で二等辺三角形を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> え！コンパスや定規を使わないの？ これで本当に二等辺三角形ができるのかな？ 2つの辺の長さが等しいよ。二等辺三角形だ。 <p>どうして二等辺三角形ができたのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> 半分に折って合わせて切ったから、2つの辺が等しい長さになります。 2つの辺の長さが等しいので二等辺三角形です。 <p>折り紙を折って正三角形を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形ができたから、正三角形もできるよ。 正三角形だと、頂点は真ん中にあるんじゃないかな？ 半分に折ったときにできる、線のどこかに頂点があるんだ。 折り紙の1辺と同じ長さになればいいんだよね。どうやって折ればいいんだろう？ Aさんできた？どうやって折ったの？ 	<p>○用語を適切に使うように留意する。</p> <p>○教師の作ったものを見て二等辺三角形を作る。</p>
追求する	<p>3 学習課題の提示</p> <p>この折り方で、どうして正三角形ができるのだろうか。</p>	<p>○隣同士で考える。</p> <p>○底辺が1辺となる正三角形で考えるようにする。</p> <p>○折り紙を見て、頂点がどの辺りにあるか見通しをもたせる。</p> <p>○子どもの中から折り方が出なかったときは、教師主導で折り方を見せる。</p>
	<p>班になって話し合ひましょう。</p> <p>できた形は、本当に正三角形なのかな？</p> <p>○等しい辺を調べるために、折って確認したことを思い出させる。</p> <p>折って辺と辺をあわせると、どの辺もぴったり合うよ。</p> <p>すごい！本当に正三角形になるんだ。</p> <p>この折り方は、切る前に、辺と辺を合わせているんじゃないかな？</p> <p>○辺の長さに着目して説明するように促す。</p> <p>もう一回折り紙で作ってみようよ。</p> <p>◇言葉だけでは、すぐに分からないBさんには、折り紙を折ったり回転させたりして見せながら、理解できるように支援する。</p> <p>下の辺と、右の辺は等しい長さだよ。</p> <p>右と左は重ねて切ったから等しくなるよね。</p> <p>そうか。だから3つの辺が等しくなったんだ。</p> <p>小グループ化の位置づけ 隣同士や班で説明し合う活動が、折り方を考えたり、わかりやすく説明したりする手だてとして、有効であったか。</p> <p>◎折り紙をどうやって折れば正三角形ができたか定義をもとに考えようとしたか。(活動観察・発言)【思考】</p>	
まとめ	<p>4 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 折り紙の辺アイと辺アウは、折るとぴったり重なるので、等しい長さです。 辺アウと辺イウは、重ねてきたので等しい長さになります。 辺アイと辺イウも等しい長さになるので、正三角形ができました。 <p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 辺アイを、辺アウ・辺イウと等しくなるように折って合わせたので、3つの辺の長さが等しくなり、正三角形ができた。 <p>算数日記を書きましょう。</p>	<p>○他の折り方があることも伝える。</p>

(4) 指導過程

段階	学習活動・教師の働き掛け 予想される子どもの反応	支援◇ 評価◎ 留意点○
つかむ 見通す	<p>1 本時の学習課題を提示する。</p>  <p>次の図形の面積の求め方を考えよう。</p> <p>長方形や正方形ではないな。</p> <p>長方形や正方形ならば面積を求めることができるのにな。</p> <p>新しい公式があるのかな？</p>	<p>○学習課題を工夫して提示をする。 (紙を少しずつ見せながら、提示することで、長方形でなく複合同形であることに意識を向ける。)</p> <p>○問題を黒板に提示し、長方形や正方形ではない図形の面積も求めることができるか考えてみようと言かけをする。</p>
追求する	<p>2 ワークシートを使って考える。</p> <p>ア 図形を横に切って、2つの長方形に分けると求めることができると思うよ。</p>  <p>イ 図形を縦に切って、2つの長方形に分けると求めることができると思うよ。</p>  <p>ウ 図形を3つに分けると求めることができると思うよ。</p>  <p>エ 大きな長方形と考えると、いらない部分を取って面積を求めたよ。</p>  <p>オ 1 c㎡の正方形をしきつめて数を数えていくと、求められると思うよ。</p>  <p>カ 動かして1つの長方形にして求めることができそうだよ。</p> 	<p>○図と考え方を表すことができるようなワークシートを用意する。</p> <p>◇自分の考えがなかなか導き出せないと思われるAさんBさんCさんには、線を引いたり、図形を切ったり図形を操作するように声かけの支援をする。</p> <p>○友だちに分かりやすく説明できるように補助線や言葉を入れるように声かけをする。</p> <p>○1つ考えることができた子には、他の方法も考えるようワークシートを配る。</p> <p>○どんな考え方があったか、机間支援しながら確認をする。</p> <p>◎複合同形の面積の求め方を進んで考えようとしていたか。 (活動、ワークシート)</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○ペア活動を取り入れ、友だちの説明を聞き、自分の考えと比べるように声かけをする。</p> <p>○発表がしやすく、見やすいようにホワイトボードを活用する。</p> <p>○ワークシートの紙の上の部分に考え方を書くようにし、発表で活用する。</p> <p>○ネームプレートを利用し、同じ考えのところに貼るようにする。(全員の考え方が分かるようにする。)</p> <p>◎長方形や正方形を組み合わせた複合同形の面積の求め方を考えることができたか。 (発表、ワークシート、学習カード)</p> <p>【数学的な考え方】</p> <p>○提示した学習課題にマスキムを書いたシートを重ね、長さが分かるようにする。</p> <p>○ワークシートの下部分に計算式を書いて求めるよう、声かけをする。</p> <p>○公式カードを活用する。</p>
まとめ	<p>3 考えを発表し合う。</p> <p>自分の考えた方法を発表しよう。また、同じような考え方はありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アの考えは、横に切って、長方形を2つにして求めるんだね。 ・イの考えは、縦に切って、長方形を2つにして求めるんだね。 ・アとイは、考え方が似ているね。 ・ウの考えは、横と縦に切って、3つにして求めるんだね。 ・エは、イやウと違って、引き算を使って求める方法だね。 ・オの考えは、1 c㎡をしきつめて、1つずつ数えていくんだね。 ・カは、1つの長方形になっているよ。おもしろいな。 ・分けて考えるとき、アやイは2つの長方形に分けていて、ウは3つの長方形に分けているから、アやイの方が計算するとき楽だね。 ・長方形や正方形にして考えると複雑な図形も求めることができそうだね。 <p>4 面積を求める。</p> <p>みんなの考え方をを使って、実際に図形の面積を求めてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アの考えは、①が $2 \times 3 = 6$ ②が $3 \times 3 = 9$ $6 + 9 = 15$ 面積は 15 c㎡です。 ・イの考えは、①が $5 \times 3 = 15$ ②が $2 \times 3 = 6$ $15 + 6 = 21$ 面積は 21 c㎡です。 ・ウの考えは、①が $2 \times 3 = 6$ ②が $3 \times 3 = 9$ ③が $2 \times 3 = 6$ $6 + 9 + 6 = 21$ 面積は 21 c㎡です。 ・エの考えは、大きい長方形① $5 \times 5 = 25$ 小さい長方形② $2 \times 2 = 4$ $25 - 4 = 21$ 面積は 21 c㎡です。 ・オの考えは、1 c㎡の正方形をしきつめて数を数えていくと、21個の数えられるから、面積は 21 c㎡だね。 ・カは、動かして1つの長方形にして求めることができそうだよ。 <p>5 本時を振り返る。</p> <p>学習カードに分かったこと、分からなかったところ、疑問に思ったことをかこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線を引いたり、切ったりして、長方形や正方形に分けて考えると求められることが分かったよ。 ・大きな長方形にして、小さな長方形を引く方法も便利だね。 	<p>○振り返りの場を設定することで、本学習での達成感や満足感を味わい、次時の学習への意欲付けを図る。</p>

(4) 指導過程

段階	学習活動・教師の働き掛け 予想される子どもの反応 ALT (JTE) の活動 ★	支援◇ 評価◎ 留意点○
つかむ	<p>1 挨拶をしよう。 ・全員で挨拶をした後、5人と挨拶したら座る「How are you game」を行う。</p> <p>2 Let's Chant "What's this?" ・音声教材を聞き、一緒に言う。 ・ボランティアが3人前へ出て、代表でチャンツを行う。</p>	<p>○What's this?のチャンツを行うことによって、本時で使う「What's this?」「It's ~.」の表現を確認する。</p>
見通す	<p>マイクイズを発表し、進んで友達のクイズに答えよう。</p> <p>3 グループに分かれて、クイズを出し合おう。</p>	<p>○出題側と解答者側に分かれて活動をし、途中で交代をするよう説明をする。</p> <p>○「What's this?」「It's ~.」「Hint, please.」「I know.」「That's right.」などの表現を使いながらクイズ大会をするよう促す。</p>
追求する	<p>★デモンストレーションをし、注意事項を確認する。 ・これまでに行ったクイズやその他のクイズから1つ選び、グループに分かれてクイズ大会をする。 漢字クイズ、3ヒントクイズ、パズルクイズ ジェスチャークイズ…など</p> <p>5～6人のグループに分かれてクイズ大会をし、全員に発表の機会を与えたことが、自信をもって表現できる場となっていたか。</p> <p>★それぞれのグループを回りながら、クイズの出題や答え方の表現を支援する。</p>	<p>◇英語での表現が苦手なAさんやBさんには、HRT や JTE が近くで表現を教えながら、クイズを出題する。</p> <p>○ヒントを出すときや答えを言う際に、大きな声で言っていたり、ジェスチャーを使って伝えたりしようとしている子を大いに褒め、活動に対する意欲を高めていく。</p>
	<p>What's this~? を大きな声ではっきり言うぞ。 ジェスチャーを使えばヒントが伝わるかな。</p> <p>It's ~.って全部英語で答えたいな。 日本語を使っていいなら僕にも答えられそうだ。 全部のクイズをやってみたいな。</p>	<p>◎クイズに出題されたある物について、積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとするのができたか。【関】〈行動観察・振り返りカード〉</p>
	<p>自分でクイズを作ったことが、より意欲を高めることにつながっていたか。</p>	
	<p>4 おすすめのクイズを発表しよう。 ・グループ内で出し合ったクイズの中で、全体に紹介したいものを1～2つ選び、全体に発表をする。</p>	<p>○本時のまとめとして、友達の良かった点を発表し、認め合いの場を作るために、振り返りの時間は十分にとるようにする。</p>
まとめる	<p>5 本時の活動の振り返りをしよう。 ・終了後、工夫していた点や、友達の良かった所、頑張っていた友達などを発表し合う。 ・振り返りカードに記入する。</p>	<p>○今日の活動の目標を確認し、自分や友達の姿と照らし合わせながら振り返りをする。</p>
	<p>6 挨拶をしよう。</p>	

(4) 指導過程

学習活動・HRTの働き掛け 予想される子どもの反応 ALTの活動★		支援◇ 評価◎ 留意点○
つかむ	1 挨拶をしよう。	
	2 Let's Chant ○これまでに歌ったチャンツを歌い、慣れ親しんだ表現を思い出させ、劇のセリフの参考になるようにする。 ○音楽を特徴付けている要素としてのリズムに気を付けて、チャンツを歌う。	
見通す	見ている友だちにもっとよく伝わる劇にしよう。	
	3 劇を見合おう。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> ・うまく伝わるかどうか不安だな。 ・大きなジェスチャーを付けて、劇をしよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> ・もっとゆっくり話をした方がいい。 ・表情から楽しい様子がとても伝わってくるね。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> ・この表現を私たちの劇でも取り入れようよ。 ・私たちが大きな声で、伝えないとね。 </div> </div> <p>○事前に、劇の大切なポイントを押さえ、見る視点を明確にする。 ★適宜、意見交換が活発になるよう子どもたちに働きかける。 ◇表情豊かに、大きなジェスチャーを付けて演じるであろうAやBを大いに褒め、表情やジェスチャーに対する意識を高める。 ◎劇を見合い、もっとよく伝わる劇にしていこうとする意欲が高まったか。</p> <p style="text-align: right;">【関】〈行動観察〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> もっとよく伝わる劇にするため、学級内で劇を見合う場を設定する。 </div>
追及する	4 劇を改善しよう。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> ・自分たちの考えた劇が伝わって、うれしかったな。 ・ジェスチャーを大きくすれば、意味が伝わった。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> ・ゆっくり、はっきりと話をしよう。 ・他の人も、○君のように表情よく劇をしよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> ・この表現を入れると、もっと話が分かりやすくなるんじゃない。 ・○君のように声を出そう。 </div> </div> <p>★それぞれのグループを回りながら、改善のアドバイスをする ○見た友だちからの意見を参考に、劇の改善をする。 ○他のグループの劇から参考になった点を、自分たちの劇にも取り入れるよう声かけをする。 ○内容を大きく変えるのではなく、ジェスチャーや文の追加などにより改善を図る。 ○劇のポイントを押さえた改善を図っているグループを取り上げ、全体に広げる。 ◇劇の内容についての理解不足や恥ずかしい思いなどから上手に表現できなかったCには、本番でできるようにこれから努力すればいいことを伝え、劇の理解や練習を促す。 ◇劇を見合う際に、自信がないながらも表現することができたDを大いに褒め、グループ内でも、励まし合い、認め合える雰囲気をつくる。 ◎もっとよく伝わる劇を目指し、話し合い、表現できたか。</p> <p style="text-align: right;">【関】〈行動観察・振り返りシート〉</p>
まとめる	5 振り返りをしよう。	<p>○今日の学習は何だったのかを確認する。 ○発表会までの日程を伝え、見通しをもたせる。 ◎よりわかりやすく伝えるための表現方法に気付いたか。</p> <p style="text-align: right;">【気】〈行動観察・振り返りシート〉</p>
	6 挨拶をしよう。	